

2015₂月



原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

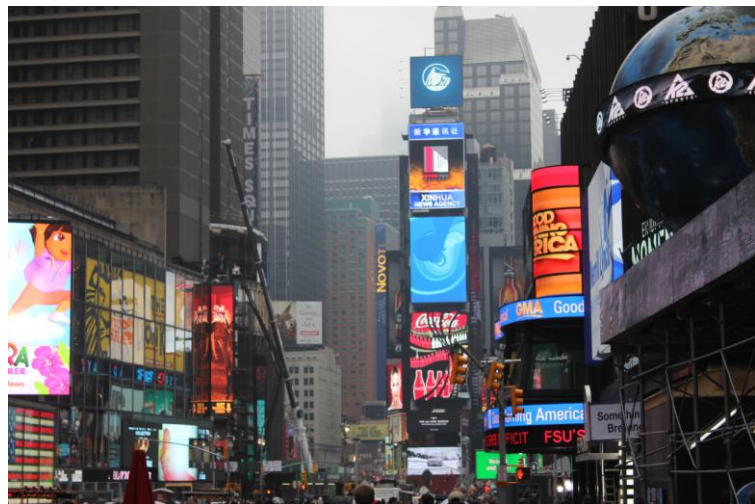
電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

100万署名150人代表最後の奮闘を



4月26日、世界の仲間とパレードするタイムズスクウェア。左はブロードウェイ(2014年4月撮影)

現在の各団体の取り組み状況

- ☆大阪原水協本部 3名
- ☆新婦人 37名
- ☆大阪民医連 26名
- ☆大阪自治労連 16名
- ☆JMIU 1名
- ☆高槻原水協 1名
- ☆大阪平和委員会 8名
- ☆寝屋川原爆被害者の会 4名
- ☆いずみ野福祉会 3名
- ☆うたごえ協議会 7名
- ☆大阪宗教者平和協議会 2名
- ☆医療労組おおさか 2名
- ☆歯科保険医協会 1名
- ☆織研新聞労組 1名
- ☆機関紙協会 1名
- ☆化学一般 1名
- ☆寝屋川民商 1名
- ☆高槻年金者組合 1名
- ☆非核の会 1名
- ☆生協関係 12名
- ☆AALA 1名
- ☆コードピンク 3名

目標達成に各団体の取り組み強まる!

大阪代表団
被爆者が先頭に

各団体の連日の奮闘で目標の「大阪百五十名代表団」ができてつつありま
す。この代表団には「寝屋川原爆被害者の会」の四名の被爆者の方が参加
申し込みをされました。
八十五歳の松山五郎さん、太田春子さん、山下しのぶさん、山口富美子さんの四名の方です。

四名の方は、とにかく「学ぼう」と関西原水協学校に参加し、国連英会話教室にも参加する猛勉強ぶりです。被爆証言集「八月のあの日」の英語版をニューヨークに持参し、核兵器の非人間性を訴える計画をしています。一つの地域から被爆者が四人も参加するのは全国でも初めてのことであり、世界から大きな拍手が寄せられそうです。

青年の参加で
元気いっぱい代表団

今代表団の特徴の一つとして、青年の「世界をこの目で確かめてみよう」の若いエネルギーが発揮されています。岸和田市にある障害者施設「いずみ野福祉会」からは二十三歳、二十四歳、二十五歳の三人が参加します。職場でこの会議の重要性を学んでの決断。

原病院から
大阪民医連からも二十代青年が参加します。耳

二名、かわち野、西淀病院から参加し、今後の活動に期待が寄せられています。

2010年署名数を突破!

(2010年4月末最終集約: 69万8839筆)

「核兵器全面禁止のアピール」署名

(2014年2月4日現在) 大阪100万署名めざして

81万2532筆

2月6日(金)5時署名宣伝行動・JR天王寺東口

被爆70年、3・1ビキニデー迫る!



☆2014年3・1ビキニデー大阪代表团

- ◆3月1日(日)「JR焼津駅南口」9時15分集合 30分出発「久保山愛吉墓参行進」
- 墓前祭 10時30分～11時30分
- 2015年3・1ビキニデー集会
- 会場：焼津市文化センター
- 13時30分15時30分
- 集会終了後、大阪代表団のまとめ集会
- 各自、新幹線自由席で帰阪
- ◆参加費用 40,000円
(分担金、交通費、宿泊費、交流会費含む)

大阪から50名参加を

- 大阪代表团スケジュール
- ◆2月27日(金)2時半～5時半
日本原水協国際交流会議
- ◆2月28日(土)
- 大阪代表团出発 新大阪9時40分発(ひかり462号)静岡11時32分着
- 日本原水協・全体集会
- 13時～15時 焼津市文化センター 分科会 15時半～19時
- 大阪代表团交流会
- 19時半～宿泊ホテル「時の栖」(ときのすみか) 徒歩5分
- 会場：「天神の湯」

被爆70年、NPTニューヨーク行動直前となる3・1ビキニデーが迫っています。国際共同行動を組織するジョセフ・ガーンソンさんは「2015年3・1ビキニデーは、NPTニューヨーク行動の学習の場ともなるものです」と、大阪の仲間に参加を訴えています。

大阪地裁 4人に勝利判決



一月三十日、大阪地裁で原爆症認定訴訟の判決がありました。西田隆裕裁判長は、原告七人のうち四人について原爆症の認定申請を却下した国の処分を取り消し、原爆症と認めました。残り三人については、却下処分の取り消しを認めませんでした。藤原精吾弁護士は、中之島公会堂で開かれた報告集会で、「新しい認定基準がなお誤っていることを明確にした判決。誤った事実認定に基づいた三人の不当判決は許せない」と、さらなる運動を呼びかけました。



関西原水協学校「参加して良かった」

一月三十一日から二日間の日程で関西原水協学校が滋賀県で開催され、大阪から二十七名が参加。関西五府県から百三十五名が参加しました。岸和田市の障害者施設「いずみ野福祉会」から四名の青年が参加し、学習しました。参加した江田紀子さんは、「私の知らない事をたくさん教えていただきました。ニューヨークに行くまでしかりと勉強したい」の感想文でした。